

編集後記

早くも12月下旬となり、まもなく2000年を迎えようとしております。この1年間は先生方にとってどのような年であったでしょうか。

お手元に日本透析医会雑誌14巻4号をお届けします。ご覧になればおわかりになると思いますが、各種の必要な情報が多くもり込められており、150頁と厚い内容になりました。いずれも優れた論文ですので、どうぞ熟読下さい。また、3月6日に日本透析医会で開催された研修セミナー、「介護保険と透析医療」の発表内容もそれぞれ論文としてまとめていただきました。

例の2000年問題では10月30日に透析医会ニュースを出し、各種の注意すべき事ごとをお知らせしましたが、先生方には十分な準備・計画を立てられていることと存じます。それにしてもこの1年間は実に多くの事件が発生して驚かされました。せめてその最終の日、12月31日は無事に過ぎて、2000年の新年を心地よく迎えたいものです。

日本透析医会でもこの1年間、実に多くの問題に取り組んできました。11月21日の拡大理事会・支部長会でもその一端をご紹介しましたが、とくに来年の医療費改定に対して多くのデータやエビデンスを元に要望書を作成し、関係部署に提出しました。年が明けてからこれらについての結論が出てくことと思います。

広報委員会では委員全員がこの雑誌をさらによいものとするべく鋭意はり切っております。来年4月には15巻1号を出すことになっており、現在その準備中ですが、次号からは雑誌のサイズをA4判と大きくし、表紙も全く変え、内容もさらに充実したものとするべく計画しております。先生方には今後も御協力下さり、どしどし論文を投稿下さるようお願いいたします。とくに各支部で行われる学術集会での特別講演や諸講演の内容を雑誌に掲載させていただきたく、発表された先生方にはその依頼をしますのでよろしく申し上げます。この雑誌により日本透析医会がいよいよ活性化されることを願ってやみません。

(広報委員会委員長 飯田喜俊)